

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 青谷福祉会
施設・事業所名	軽費老人ホームヴィラ城陽
取組名称	保育園との交流（芋苗植え、芋ほり、焼き芋）
取組の目的や背景・内容など	
地元にある保育園には畑がなく、野菜に触れる機会がないため、ヴィラ城陽の畑を活用し野菜育て食べる楽しみを感じていただく事、また、高齢者との触れ合いで社会交流を目的に年3回に渡り取り組みを実施しています。（費用は全額施設負担） ・6月 芋の苗植え ・10月 芋の収穫 ・11月 焼き芋交流会	
取組を行って良かった点など	
保育園からは野菜を育てる体験をさせていただけたことで、自分が植えた野菜を収穫し食べるまでの一連の工程が体験でき、学ぶ機会をいただけたと好評でした。 また、施設の利用者にとっても園児との交流は刺激になり、日ごろ以上に笑顔で笑っていただくことが多く見られ、楽しい時間を過ごすことができました。	

【参考写真】



芋ほりの様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 青谷福祉会
施設・事業所名	城陽市立東部デイサービスセンター
取組名称	久世神社子供神輿巡業
取組の目的や背景・内容など	
毎年10月に地元校区で開催される神輿巡業で子供が神輿を担がれています。その子供や保護者の方の休憩所として施設を開放しています。	
取組を行って良かった点など	
施設が地域の社会資源として地元地域住民に活用していただけたこと、また、利用者には伝統行事を近くで見られたと好評でした。	

【参考写真】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホームヴィラ山科
取組名称	ふれあい大宅
取組の目的や背景・内容など	
地域の方々が集う場所を提供し、高齢者の孤立防止と、いきいきとした生活が送れることを目的にを、平成25年9月より「ふれあい大宅」として地域にあるお寺「大圓寺」の場所をお借りし、毎週土曜日にイベントを行っています。開設時は大宅地域包括が中心となり運営していましたが、現在は特別養護老人ホームヴィラ山科として運営を継続しています。 ・公園体操 ・季節に応じたイベント ・障害者施設協力による野菜販売 ・認知症に関する勉強会 など	
取組を行って良かった点など	
ふれあい大宅を初めて6年が経過し、毎回10名～20名の参加があり、地域に根付いた居場所になってきています。ふれあい大宅に参加されることで、顔見知りになられる方もあり、孤立防止という目的も達成されています。今後も継続しておこない、「ヴィラ山科」という総合福祉施設としての役割を地域へ提供していきたいと思います。	

【参考写真】



公園体操の様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	ヴィラ山科居宅介護支援事業所 清水焼団地センター
取組名称	山科・清水焼団地 みちくさの家
取組の目的や背景・内容など	
高齢者が自由に集うことができ、高齢者同士、又は高齢者と各世代との交流を促進し、地域からの孤立化を防ぐことにより、認知症の早期発見や進行防止、介護予防等を図ることを目的として地域の方々が集う場所を提供し、平成26年6月に開設いたしました。 みちくさの家は、対象者を高齢者のみに限らず、赤ちゃんからお年寄りまで障がいのある人もない人も対象とし、ふと立ち寄れる憩いの場をめざし、お越しいただけるみなさんをつくっていくフリースペースを目指しています。 おしゃべりを楽しんだり思い思いに過ごしたり、曜日ごとに行う色々な“倶楽部”に参加し、楽しいひと時をゆっくりと過ごしていただけたらと思います。 運用に関しては、日替わりで大学生ボランティアと地域の団体（NPO法人「山科醍醐こどものひろば」）などが常駐し対応しています。また、不定期で京都市だいが学園ドーナツ販売や京都橘大学すこやか健康教室も開催しております。 今後も様々な“倶楽部”でのイベントなどを行っていき、皆さんに気軽にお越しいただき、「世代を超えた近所づきあいの拠点（=社会資源）になれば」と思っております。	
取組を行って良かった点など	
地域の社会福祉協議会の委員や子どもたちとのつながりができて、地域に根付いた居場所になってきています。山科・清水焼団地 みちくさの家の来場されることで、地域住民が孤立防止という目的も達成されています。今後も継続しておこない、社会福祉法人としての役割を地域へ提供していきたいと思っています。	

【参考写真】



京都橘大学すこやか健康教室の様子



京都市だいが学園ドーナツ販売の様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	三条小川デイサービスセンター
取組名称	「転ばない」ための健康教室
取組の目的や背景・内容など	
普段の生活の中で、改めて体操の時間を作り実行している人は少ない。その中で、少しでも自宅で簡単に実行できる体操メニューを当グループの健康運動指導士が、毎年テーマを変え実施している。	
取組を行って良かった点など	
椅子に座って行う体操メニューなので、「自宅でもやってみよう」との声を沢山いただきました。	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホームヴィラ山科
取組名称	カフェふくろう
取組の目的や背景・内容など	
武田病院グループでは、ヴィラ山科に隣接している「いわやの里」で認知症棟、ヴィラ山科内では認知症対応型通所介護など認知症に特化した事業を運営しております。大規模多機能的に連携するには、この地域に住む住民を巻き込むことが重要と考え、地域の方々に認知症に対する理解、また、気軽に相談が出来る場所を提供するため、平成26年12月にヴィラ山科施設内にて運営を開始しました。しかしヴィラ山科の立地は坂道がきつく、なかなか地域の方々が足を運べる環境になく、平成30年4月より、「ふれあい大宅」を開催している場所「大圓寺」で、月に1回出張カフェを行うことにしました。	
取組を行って良かった点など	
「ふれあい大宅」に来られる方々へ「カフェふくろう」の認知をしたいただくことができ、地域の方々に足を運んでいただけるようになってきました。また、認知症に関する勉強会を開催したりすることで、多くの方に認知症の理解を深めていただくこともでき、気軽に相談できる場所という認識も持っていただけています。今後もカフェふくろうとしての活動を継続していき、当事者や家族の方が来られても対応できるよう、専門職を配置することで、地域包括ケアシステムの一助となれるよう取り組んで参りたいと思います。	

【参考写真】



カフェふくろうの様子



カフェふくろうの入り口

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山
取組名称	こんこんカフェいなり (地域住民を対象にしたスペースの提供)
取組の目的や背景・内容など	
これまで、施設利用者・家族を対象に月1回、1階にある地域交流ホールに喫茶スペース”こんこんカフェいなり”を設けていました。これを「地域にひらかれた、ほっこりできる居場所」にできるよう対象を地域の方々へも広げ、ワークパートナーYUI（就労継続支援A型）の協力を得てコーヒーやケーキの提供、生演奏を楽しんだり、施設見学や介護に関する相談ができる場にしています。	
取組を行って良かった点など	
月平均 25～30 名程度の利用者があり、参加した方々に大変喜んでいただいています。また、施設の役割が地域に浸透することで、区民運動会や学区の消防訓練などの関わりが継続できています。今後も、人々の温かな交流の場・出会いの場として活用されるよう、地域と連携して活動していければと思います。	

【参考写真】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山
取組名称	(地域住民を対象にしたスペースの提供)
取組の目的や背景・内容など	
「体操を実施したいが場所がない」といった地域の皆さん（わくわく体操）のニーズをお聞きすることがあり、地域のシルバー世代が様々な活動を行う際に、月額500円の低額な利用料により特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山のホールを貸し出す取組みを行っています。	
取組を行って良かった点など	
月2回延べ平均30～40名程度の利用実績があり、空調も使用できることからホールをお貸しした方々に大変喜んでいただいています。また、施設で実施している「こんこんカフェいなり」の参加も口コミで広げていただき、カフェの利用者増につながるといった副次的な効果もありました。今後も、高齢者の自主的な体操を通した交流の場・出会いの場として活用されるよう、地域と連携して活動していければと思います。	

【参考写真】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホーム加茂の里
取組名称	こども食堂
取組の目的や背景・内容など	
様々な課題（生活困窮世帯・ひとり親家庭等）を抱える子どもとその保護者を広く受け入れ、子どもが将来の希望や夢を持つきっかけとなる場となり、食事や交流等を通して、居場所やその他の福祉施策に繋ぐ入口となるよう取り組んでいます。 月に1回定例開催 ・ 低廉な価格で食事の提供等 ・ 仲間と一緒に楽しむことができるゲームの設置 ・ 本に触れ合うことができるよう図書の用意	
取組を行って良かった点など	
令和元年10月からこども食堂を開設。 開設して間がないので来場者は少ないが、来場された親子については食事を楽しまれています。又、来場された親子と職員が一緒になってゲームを楽しむなどされており、お帰りの際には笑顔になっておられるのが印象的であった。子供～大人まで触れ合うことのできる場の提供を継続したいと思います。	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人青谷福祉会
施設・事業所名	特別養護老人ホーム加茂の里
取組名称	加茂の里文化祭
取組の目的や背景・内容など	
文化祭を通じて地域住民より作品を募り、地域交流を図っています。 ご利用者及び地域住民、学校、保育園、福祉施設等に作品の出展を依頼し、施設内にある地域交流センターに展示しています。 期間中は地域住民に施設を開放し、作品を鑑賞してもらいました。	
取組を行って良かった点など	
出展、参加された方からのコメントです。 ・幅広い年齢層で実施したことで温かさを感じました。 ・丁寧に作品を作られていてすばらしかったです。近隣の小学校、保育園さんとのコラボもとても楽しめました。皆さんすばらしかったです。 ・なかなかよくお作られていて感心しました。 ・色々見せてもらい良い勉強になりました。 ・私も出展したい。 ・来年も飾ってくれるように頑張りたいです。	

